

Digital Camera 倶楽部

FEB 2021
Vol.182

今年の初午は 2 月 3 日 立春に重なりますね

一昨年、高校時代に思い出のある王子で、有名な王子稲荷に行きました



大塚から都電荒川線で王子へ行きました。桜の名所飛鳥山を散策、今度 1 万円札に肖像が印刷される渋沢栄一さんの記念館もありました。

子供の頃の都電は片道 13 円で往復 25 円だったような記憶があります。

飛鳥山の下の歩道橋からの撮影スポットです。

飛鳥山と言ってもちょっとした丘ですが、こんな乗り物がありました。形からエスカルゴならぬアスカルゴと名付けられていました。





東国三十三国稲荷総司との伝承を持ち、落語『王子の狐』でも有名 狐火おびただし、この火にしたがひて、田畑のよしあしを所の民うらなふことありといふ(net)

立派な本殿にお参りして横に廻ると鳥居が並んでいました。

土地の有効利用でしょうか、昔は周囲が森だったのでしょね。鳥居もスマートに並んでいましたが趣のあるものですね。

本宮社・御石様へと続いていました。一番奥の土手の下には狐穴があって、本当に狐がいるのではないかと思える雰囲気でした



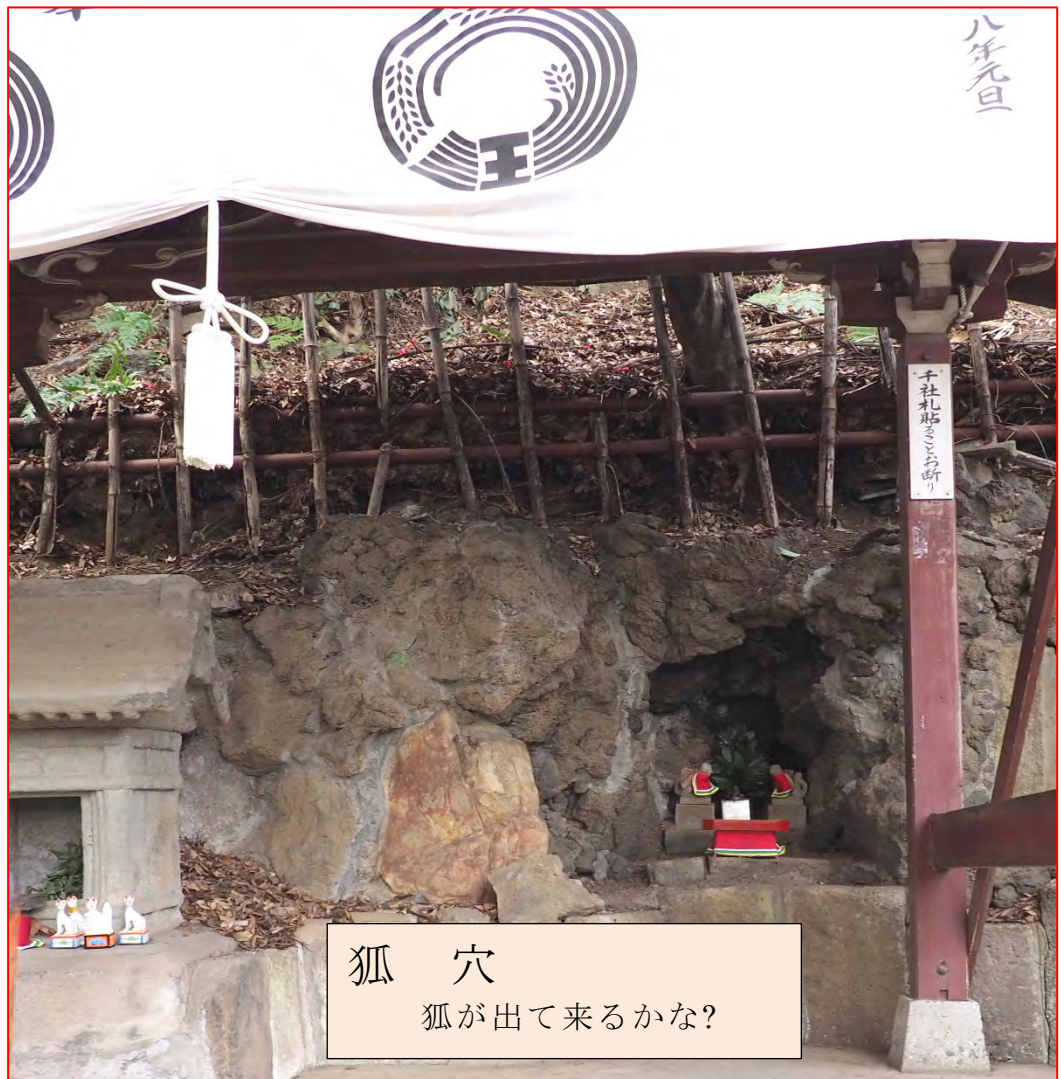


触って壊されないように狐が籠で保護されています。





自分で思っていたより持ち上げてみて軽かったら願い事が通うそうです
思っていたより重かったら？



狐 穴
狐が出て来るかな？

吉川のページ

庭の冬景色と散歩中の風景

今年は寒いので久しぶりに霜柱が出ました（自宅 霜柱草）



大きな木の枝落とし作業 大変そう



山十邸のドウ
ダンツツジ
紅葉が見事



周りの木は殆んど葉が無いのに
この木だけ黄金色に輝いていた

鈴木瑠美子 のページ
冬の我が家

コロナ騒ぎが続く中、寒の時期に見られる我が家に風景を収めてみました。



廊下に置いたシャコバサボテン、今年もきれいに咲いた

赤色のシャコバサボテン、焦点が合わなかった



ピンクのシャコバサボテン、こちらは先端にピントが合った



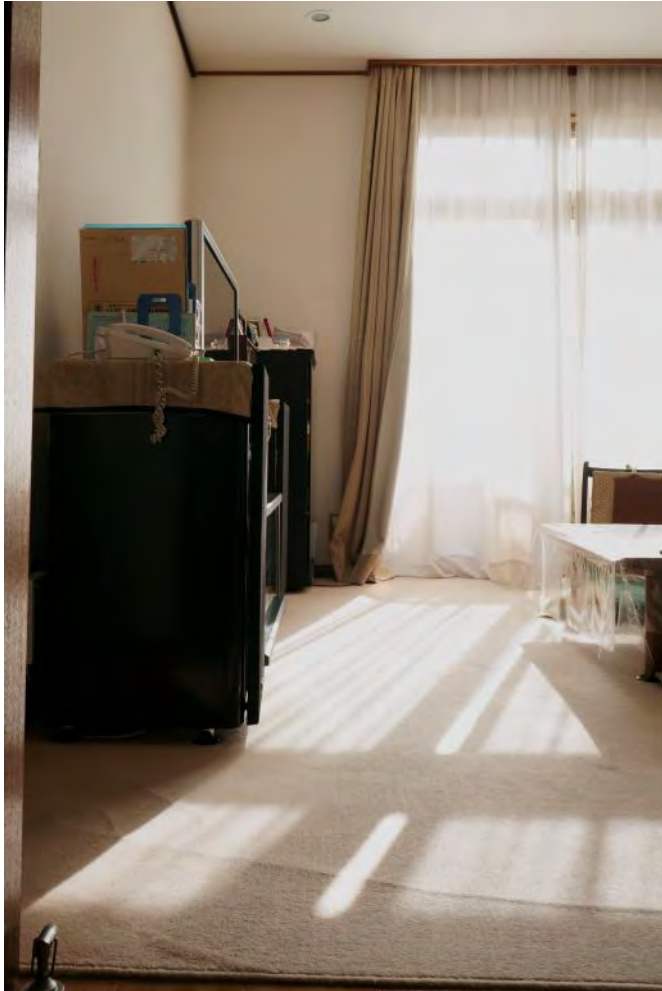
どうだん躑の紅葉は日の当たり具合で明らかな違いが出る



玄関先に現れたカマキリは餌もなくかわいそう

廊下に現れた虹、月日と時刻によりその出場所が変わっていく





リビングで見られた影は冬の日の
長さを見せる



庭から見た冬の雲は
郷里福島では見られ
ない



朧月夜とはお世辞
にも言えない月、し
かし夏秋とは違う

別府 2021 - 1 月写真

晴天に恵まれたスイスの山やま



雲ひとつなく晴れ渡ったモンブラン









笹原虎夫のページ

身近な鳥



虫を捕まえた
モズ(雄)

水浴び直後のメジロ
羽が濡れている様



獲物を狙う
チョウゲンボウ(雌)



他の鳥の鳴きまね上手

ガビチョウ

冬のきらきら星
牡牛座のプレアデス星団
M45(昴)



鈴木義則 のページ

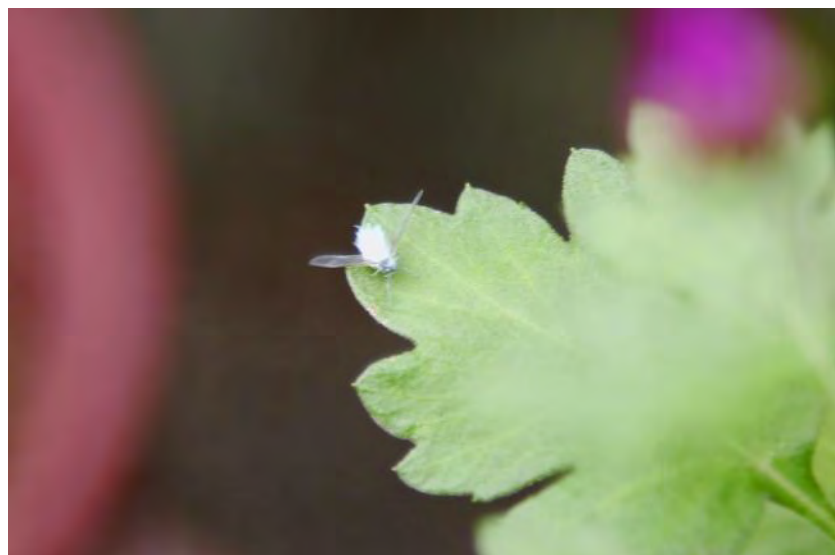
「今年の初冬」

これまでの新型コロナに加え新たに変異株3種類が発生しているとのこと、如何に自粛自衛をしているとは言え心穏やかではありません。そんな中でも我が家の自然は変わることなく秋を演出してくれています。



以前にも撮影した目白ですが、今年も好物のミカンを食べに来てくれています

同じく雀の餌場です。つがいでしょうか仲良く食べていました



白い羽毛を身にまとった雪虫です。とまることが少ないため写すのに一苦労、ピントはぼけてしまいました

ここからは初冬の花 3 種類、何方もが映される代表的な花ですので、構図に注意を払いました。

枝が纏まらない特徴の黄
梅ですが、右から左へ流す
ことで見栄えが少しは良
くなった気がします



紅梅を 2 枝ほど切り取
った写真です。後ろが
ぼける程度まで近寄っ
て写しています

同じく白梅ですが、
全域に同じ流れを作
り、花だけの写真に
してみました

